

正 誤 表

「生物薬剤学（改訂第4版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所																
103	表 4 - 1	[以下に差し替える] <table border="1"><caption>表 4-1 薬物代謝能の変動要因</caption><thead><tr><th>変動要因</th><th>酵素の発現量</th><th>薬物代謝能</th></tr></thead><tbody><tr><td>酵素阻害</td><td>変化なし</td><td>低下</td></tr><tr><td>ダウンレギュレーション</td><td>減少</td><td>低下</td></tr><tr><td>酵素誘導</td><td>増加</td><td>上昇</td></tr><tr><td>酵素活性化*</td><td>変化なし</td><td>上昇</td></tr></tbody></table> <p>*酵素活性化については、臨床重要となる事例は知られていない。薬物代謝能の上昇は、酵素量の増加（酵素誘導）によることが多い。</p>	変動要因	酵素の発現量	薬物代謝能	酵素阻害	変化なし	低下	ダウンレギュレーション	減少	低下	酵素誘導	増加	上昇	酵素活性化*	変化なし	上昇
変動要因	酵素の発現量	薬物代謝能															
酵素阻害	変化なし	低下															
ダウンレギュレーション	減少	低下															
酵素誘導	増加	上昇															
酵素活性化*	変化なし	上昇															

2024年6月11日

株式会社南江堂